

荘川の秋は地芝居から始まります。

荘川桜移植
50周年

荘川の秋の例祭は、地域の若者が人情時代劇を古くから奉納芝居として演じ、地域に伝えられた台本の中から毎年演目を替えて上演され、人々を楽しませています。
年に一度一夜限りの舞台に約二週間、毎晩夜遅くまで熱の入った舞台稽古が行われ本番を迎えます。素人とは思えない迫真の演技で、笑いあり、涙ありの展開が見どころです。

荘川地芝居ラスタンプ



9月3日(金)
獅子舞等/午後7時〜
地芝居/午後8時頃〜

野々俣神社



9月1日(水)
獅子舞等/午後7時〜
地芝居/午後8時頃〜

黒谷白山神社



9月14日(火)
獅子舞等/午後7時〜
地芝居/午後8時頃〜

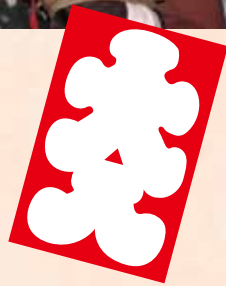
荘川神社



スタンプラリー

「荘川地芝居」1ヶ所以上と「ひだ荘川ふるさと祭り」を巡って飛騨牛や荘川特産品セット等を当てよう!!

詳細はウラ面をご覧ください。



第23回
10月17日(日) 午前9時30分〜午後3時

ひだ荘川 日本一の連獅子ひねり踊り
ふるさと祭り



連獅子・ひねり踊り

町内各神社に数ある獅子30頭が集まり「日本一の連獅子」と銘打って勇壮な舞を繰り広げます。また、今年は3年に一度の「ひねり踊り」が同時に行われます。
この「ひねり踊り」は町内の神社仏閣や学校の新築などの祝賀行事として行われていた伝統芸能です。露払いから警護・旗持ち・花笠・長刀・奴・弓引きなど総勢100人余りの勇壮な大行列で、大名のいないのが特徴です。

